

**「土浦市まち・ひと・しごと創生 人口ビジョン・総合戦略」策定に係る  
アンケート調査結果報告書（転出者）【速報版】**

**（１）アンケートの実施概要**

調査目的	土浦市が進むべきビジョン・戦略を改めて検討するため、転出者に対して、土浦市から転出した理由及び評価などについての意向を把握することを目的とする。
調査対象者	2018年(平成30年)1月から12月の1年間に本市から転出された18歳以上の方
調査対象者数	1,500人
調査期間	配布:5月31日, 回収:6月30日
調査方法	郵送による配布・回収
回収状況	回収数:289票(回収率:19.3%)

■調査項目

分類	設問	回答方式	
回答者自身のこと	問1. あなたの性別は。	単一回答	
	問2. あなたの年齢は。		
	問3. あなたの職業は。		
転出前(土浦市)と転出後の住まい	問4. 土浦市内にどれくらいお住まいだったか。		
	問5. 「転出前の土浦市内のお住まい」と「現在のお住まい」のお住まいの形態及び世帯構成。		
	問6. 転出前,土浦市ではどの地区にお住まいだったか。		
	問7. 土浦市から転出した後はどちらにお住まいか。		
土浦市から転出した理由及び評価	問8. あなたが土浦市から転出した最も大きな理由は何か。		複数回答
	問9. 土浦市での生活はいかがだったか。		
	問10. 【問9で「1」、「2」とお答えの方】土浦市のどんなところに満足いただけただか。		
	問11. 【問9で「4」、「5」とお答えの方】土浦市のどんなところに不満があったか。	単一回答	
	問12. 転居の際には,土浦市内でもお住まいを探したか。	複数回答	
	問13. 【問12で「1」、「2」とお答えの方】最終的に現在のお住まいを選んだ理由は何か。		
	問14. あなたは土浦市に愛着があるか。	単一回答	
	問15. あなたは,将来,また土浦市に住みたい(戻りたい)と思うか。	複数回答	
問16. 【問15で「1」、「2」と答えた方】土浦市に住みたい・戻りたいと思う理由は何か。			
問17. 土浦市がどのようなまちになれば,住みたいと思いますか。または,人口流入が見込めると思うか。			

## (2) アンケートの主な結果

### ■転出前(土浦市)と転出後の住まいについて [問4～問7]

- 土浦市内での居住年数は、「**1～5年未満**」(31.8%)が最も多かった。また、前回調査(2014年)に比べ、「20～30年未満」が4.6%減少し、「10～20年未満」が3.0%増加している。[問4]
- 居住形態は転出前・後ともに、「**民営借家(マンション・アパート)**」(転出前:42.9%→**転出後:51.6%**)が最も多く、次いで「持家(一戸建て)」(転出前:38.0%→転出後:27.9%)となった。転出前から転出後の割合の差分については、「持家(一戸建て)」が10.1%減少し、「民営借家(マンション・アパート)」が8.7%増加している。[問5]
- 転出前の世帯構成は、「**夫婦と子ども**」(38.7%)が最も多く、転出後は、「**一人世帯**」(34.6%)が最も多かった。転出前から転出後の割合の差分については、「夫婦と子ども」が14.4%減少し、「夫婦のみ」が12.0%増加している。前回調査(2014年)に比べ、転出前から転出後の割合の差分について、「夫婦と子ども」が4.4%減少し、「一人世帯」が6.2%増加している。[問5]
- 転出前の居住地区は、「**四中地区**」(19.1%)が最も多かった。[問6]
- 転出後の居住地は、「**その他茨城県外市町村**」(24.0%)が最も多く、全体で茨城県内が44.9%、茨城県外が55.1%となった。前回調査(2014年)に比べ、「千葉県」が2.9%増加している。[問7]

### ■土浦市から転出した理由及び評価について [問8～問17]

- 転出した理由は、「**仕事の都合(就職, 転勤, 転職, 退職等)**」(46.3%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「家庭の都合(結婚・離婚, 子どもの進学, 親の介護等)」が5.0%減少している。また、つくば市, 牛久市へ転出した方は「家庭の都合(結婚・離婚, 子どもの進学, 親の介護等)」(つくば市:31.6%, 牛久市:33.3%)が、阿見町へ転出した方は「住宅の都合(持家の購入, 広さ・間取り等)」(46.7%)が最も多かった。[問8]
- 生活満足度は、「**まあまあ満足**」(55.6%)が最も多く、「大変満足」(17.7%)と合わせると、およそ7割の方が生活に満足していたこととなる。また、前回調査(2014年)に比べ、「大変満足」又は「まあまあ満足」と答えた方が5.3%増加している一方で、「やや不満」が5.9%減少している。[問9]
- 満足していた項目は、「**日常の買い物に便利なところ**」(58.8%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「治安の良いところ」が6.7%減少し、「公園や緑があり閑静なところ」が6.5%増加している。また、つくば市, 牛久市又は阿見町へ転出した方は、いずれも「日常の買い物に便利なところ」(つくば市:57.1%, 牛久市:100.0%, 阿見町:50.0%)が最も多かった。[問10]
- 不満を感じた項目は、「その他」(道路環境が悪いところ, 土浦駅へのアクセスが不便なところ等)以外に、「**治安がわるいところ**」(35.7%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「子育て支援策が不十分なところ」が10.4%減少(皆減)している一方で、「その他」が14.5%増加している。また、つくば市へ転出した方は「その他」以外に「日常の買い物に不便なところ」, 「スポーツ・レジャー施設が充実していないところ」, 「治安が悪いところ」と「公園や緑が少ないところ」(50.0%)が、牛久市へ転出した方は「通勤・通学に不便なところ」, 「市内・近隣に働く場所がないところ」と「日常の買い物に不便なところ」(100.0%)が、阿見町へ転出した方は「生活基盤(道路や上下水道)が未整備なところ」(100.0%)が最も多かった。[問11]

## ■土浦市から転出した理由及び評価について [問8～問17]

- 住まい探しは、「**最初から他の市区町村に住むつもりで、土浦市内では探さなかった**」(50.6%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、4.0%増加している一方で、「現住所に住むしかなかった(社宅が現住所にある、同居する家族が住んでいるなど)」が8.4%減少している。[問12]
- 住まいの決定理由は、「**職場、学校が近いから**」(48.7%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「子育て支援策が充実しているから」が8.9%減少している一方で、「その他」(家庭の都合等)が8.1%増加している。また、つくば市へ転出した方は「日常生活が便利だから」(35.5%)が、牛久市へ転出した方は「交通の便が良いから」、「職場、学校が近いから」と「住宅価格、家賃が妥当だから」(牛久市:33.3%)が、阿見町へ転出した方は「住宅価格、家賃が妥当だから」(70.0%)が最も多かった。[問13]
- 土浦市への愛着は、「**どちらかといえば愛着がある**」(36.6%)が最も多く、「愛着がある」(30.6%)と合わせると、およそ7割の方が土浦市に愛着があることとなるが、前回調査(2014年)に比べ、「愛着がある」が5.3%減少していることから、「愛着がある」又は「どちらかといえば愛着がある」と答えた方は2.0%減少している。[問14]
- 将来土浦市に住みたい(戻りたい)かどうかについては、「**選択肢の一つとして考えたい**」(35.9%)が最も多く、前回調査(2014年)に比べ、3.3%増加している[問15]
- 土浦市に住みたい・戻りたいと思う理由は、「**親族(親など)が住んでいるから**」(43.7%)が最も多かった。前回調査(2014年)に比べ、「東京に近い、または交通の便が良いから」が9.1%減少している一方で、「地の利があるから」が9.3%増加している。[問16]
- 住みたいと思えるまちについては、「**買い物の場や公共交通の充実などの生活利便性のあるまち**」(53.4%)が最も多く、次いで「子育て支援が充実したまち」(29.9%)、「土浦市近郊での雇用の場が確保されたまち」(24.6%)となっている。前回調査(2014年)に比べ、「住宅を建てる際の補助等の支援が充実したまち」が5.1%、「保健医療、高齢者福祉などが充実したまち」が4.9%増加している。[問17]